



# 学校だより 10月号 OCT

令和元年9月27日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあい かがやき 豊かな心～

## 仲間体験 本物体験 感動体験

校長 高橋 美都子

9月に入っても暑い日が続いていましたが、秋分の日を過ぎたころからやっと秋らしい気候になってきました。朝晩の虫たちの鳴き声が大きくなり、1年生の生活科の学習での秋探しでは、たくさんのドングリが集まりました。暑い時期に比べて、休み時間に外で遊ぶ子どもたちも増えてきたように思います。まさに運動や学習に取り組みやすい季節になったことを感じます。

学校では、それぞれの学年で遠足や宿泊体験学習が行われます。子どもたちも運動会と並んで楽しみにしている行事です。今年も、4月に行った1・2年生の寺家ふるさと村遠足を皮切りに、5月には3年生の新江ノ島水族館遠足、9月になって5年生の御殿場宿泊体験学習、6年生の日光修学旅行と続き、10月には4年生の愛川宿泊体験学習が計画されています。

5年生の宿泊体験学習と6年生の修学旅行では、子どもたちはやるべきことや必要なことをしっかりと理解し、行動できていました。これまでの経験が身に付いているからでしょう。活動の内容や意義を把握し、自分たちでテーマを決め、そこからめあてや約束を考え、よりよい体験学習にしようという姿が随所に見られました。子どもた



ちは進んで自分の役割を果たし、仲間と協力して行動し、文化遺産に親しみ、充実した活動を楽しむことができました。



宿泊体験学習や遠足を通して、子どもたちは自主的に活動を作り、人との関わり方を

学び、実践的な態度を養います。それは普段の生活よりもさらに真剣に仲間のことを考えたり、本物に触れる体験をしたりすることができるからだと思います。仲間体験や本物体験は、実感を伴った感動体験に結びつきます。そうやって生まれた感動体験は子どもたちの生きる力につながっていくのです。4年生の体験学習でも、十分に準備をして楽しい2日間になるようにしたいと思っています。

10月19日(土)に「ひいらぎのつどい」を行います。地域の方々を先生としてお迎えし、子どもたちがいろいろなことを教えていただく行事です。子どもたちもとても楽しみにしています。ここでも、先生方から本物を教えていただき、多くの人と関わる中から学べる感動体験があると思います。ひいらぎの先生方、ボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。